

雪嶺集

〈宮坂静生鑑〉

春 月

小 林 貴 子

飯田市吟行四句

杣人の斧^{よき}研ぎの場やこごみ摘む
斧研ぐや鋭き囀のただ一度
狼煙台高き桜の高吹雪
闇を得て森青蛙恋成就
にぎり江や散る花すべて受け止むる
春月や象には象の子守歌
やしうまの彩りに釈迦目覚めさう
戦に手拱くのみかアスパラガス
麦畑の中に転がる鉄兜
春や凶事殺生石の割れたるも

